

# 星 雅文准教授の模擬授業

## 医療

### 医療問題を考える – 医療福祉経営学科の処方箋 –

講師: 星 雅文

医療制度の維持は、とても身近な課題であり、多くの人々の関心事ですが、その複雑さから分かりにくいものです。米国では、オバマ政権が医療保険制度の改革を打ち出し、自由経済における政府の役割の基本的な考え方が議論されています。日本も同様の問題を抱えていること、医療保険制度、診療報酬体系、混合診療、包括払い制度などの現状の問題と改革について説明します。医療・福祉が地域社会にとって重要であることを理解していただき、医療・福祉分野への進学・就職を考えるきっかけとなれば幸いです。

なお、医療福祉経営学科で育成する人材は、家族が誇れるスペシャリスト(診療情報管理士)です。この講義では、診療情報管理士という新たな医療の専門職が、病院などの医療機関や地域の医療にいかに関与するかについても説明させていただきます。

■ 受講人数の目安: 3~50人

■ 所要時間の目安: 45~90分

■ 高校でご準備いただきたいもの: スライドが投影できる場所(白い壁でも結構です)、黒板あるいはホワイトボード

## 医療

### これからの医療が行く先は? – 日本の50年後を考えて –

講師: 星 雅文

「医療」は高校生の皆さんにとってほとんど馴染みのない世界でしょうが、病院のお世話になる日は誰にも必ず来るものです。人々が家庭をかまえる時に重要視することは、今も昔も、「子供が学校に通えるか」と「医療を受けられるか」だと言われています。医療が社会に必要不可欠であるということは、50年後になっても変わらないでしょう。

皆さんが生まれる少し前の1990年頃から、社会が大きく変わり始めました。日本の医療はその影響を大きく受け、現在の様々な問題につながっています。その問題の要因は何だったのでしょうか? 解決策はあるのでしょうか? そして、日本の医療はこれからどの方向に進もうとしているのでしょうか?

これらのことを分かりやすく解説しながら、医療の世界でこれから求められる「人材」について、日本の将来を担う皆さんと一緒に考える時間にしたいと思います。そして、医療に係る仕事は様々なことを、ぜひ皆さんに知っていただきたいと思います。

■ 受講人数の目安: 3~50人

■ 所要時間の目安: 45~90分

■ 高校でご準備いただきたいもの: スライドが投影できる場所(白い壁でも結構です)、黒板あるいはホワイトボード

## 一般

### 「予測不能」を科学する – 複雑な現象をどのように探るか –

講師: 星 雅文

人生は予測不能なことが数多く起こります。大地震の発生予測は、多くの科学者によって長年研究されているにも関わらず、未だ誰一人として成功していません。また「北京で蝶が羽ばたくと、ニューヨークで嵐が起こる」という話、常識的には起こり得ないのですが、起こらないとも言いきれません。小さな岩の歪みや蝶の羽ばたきのような、ごく小さな要素の組み合わせや関わりが未来に大きな影響を与える可能性がある場合、原因や関係性が複雑すぎて正確な未来予測は不可能だといわれています。このような複雑な現象を探るのが「複雑系」という研究分野です。

これまでの科学は、研究対象を分解して理解し、その総和から全体を理解することが可能だとされてきました(要素還元主義といいます)。しかし、それでは説明できない現象が存在します。いわゆる魚群をつくる魚は、個別には「横にいる魚と速度を合わせる」・「前にいる魚を追う」という2つの規則だけに従っているそうです。しかし、魚群が形を変えたり方向転換ができる仕組みは、個々の魚の動きを足し合わせても全く理解できません。

複雑系は、皆さんの身近に起こっている現象を例にした、非常に面白い最先端の科学です。「複雑な世界」をどうやって理解するのか、その一端を探検してみませんか?

■ 受講人数の目安: 3~50人

■ 所要時間の目安: 45~90分

■ 高校でご準備いただきたいもの: スライドが投影できる場所(白い壁でも結構です)、黒板、あるいはホワイトボード